

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮 1ユニット		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	平成28年11月5日	評価結果市町村受理日	平成28年11月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2015_022_kami=true&jiyosyoCd=2292100043-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは自然に囲まれた静かな環境の中に位置しております。周辺には白糸の滝や田貫湖などの観光スポットも多く、外出を楽しむことが出来ます。ホームの前は一周800メートルほどの散歩コースがあり、ご利用者様は天気の良い日には外気浴をされ四季の景色を楽しみながら個々に合わせたペースで散歩をされています。季節の行事や畑の野菜を育て皆様に調理し召し上がったり、自然の環境の中でご利用者様がストレスなく伸び伸びと生活して頂ける様支援しています。7月より導入したカラオケ機械は歌を楽しむだけではなく、ゲームや体操などの機能も付いており皆様コミュニケーションを取りながら笑顔のある生活を送っています。今後も様々な機会を通じて認知症ケアに努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かで敷地も広々とした事業所です。ミッケルアート、タクティールケアのほか、「健康王国」は毎月コンテンツが替わるゲームやカラオケができるもので、利用者の馴染みのツールとなっていくことが期待されており、全国に240箇所余のグループホームをもつ法人のスケールメリットの賜物です。また事業所も頑張りを見せ、例えば3ユニット部門のお客様満足度で上位に入り、また本外部評価の家族アンケートも絶賛の嵐で、積み重ねた信頼の厚みを感じます。地域から散歩の休憩場所となるベンチを用意してもらえたり、春の事業所まつりでは来客者が140名を超す賑わいを見せ、一つひとつを真摯に取組む誠実さに人心が集まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申送り時に理念を唱和し、理念に基づいたサービスが提供出来る様に努めています。また、各ユニットで目標を考えて、実践に繋がられるようにしています。	理念に基づいて職員全員で立案した目標も併せて掲示し、理念は申し送りでの唱和をおこない、クレド(カード)も常時携帯しています。これまでは業務改善の様相が色濃かったのですが、現在はケアそのものについての事柄が強まっている点に組織の成長が視えます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	ホームのイベントに地域の方に参加して頂いたり、文化祭などの地域行事にご利用者様が参加させて頂いています。ホーム周辺の散歩の時は地域の方と交流を持ち、お話をしたり、山菜を頂いたりすることもあります。	地域の文化祭には出店ブースが毎年用意されており、自らの作品見学に利用者も意気揚々とでかかっています。事業所も5月の「まつり」では近所を廻ってチラシを手渡して140名余の人で溢れ、餅つきには小さなお子さんも歓声をあげての心に残る1日となりました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に1度の春祭りに地域の方、ご家族様に参加して頂いています。また、地域のイベントへの参加もさせて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホーム内の取り組みをお伝えしたり、参加して下さったご家族様、民生委員、地域の方のご意見をサービス向上に努めています。	出欠の案内は毎回介護支援専門員が工夫を凝らすイラスト掲示で出席率を上げており、また27名のスケールメリットが生き、概ね5~6名の家族が参加していて、ドライバーとして付添った友人や夫妻での出席があることも目を惹きます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や春祭りなどに参加して頂き、ご意見を頂いています。また市役所での感染症や防災などの報告や地域の活動予定などもお知らせ頂き連携を取っています。	運営推進会議に地域包括支援センターの出席はないものの、富士宮市の福祉企画課と介護障害支援課が予め「この週が調整しやすいのだけど〜」と日程意向も連絡くださるなど、きめ細やかな関わりと助言があります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年2回の研修と2カ月に一度身体拘束、虐待防止についての強化週間があり、身体拘束防止についてスタッフ間で意識しています。	法人の年間研修に位置付けられて知識の標準化が図られています。現在採用については難儀していますが、法人が「月22日勤務を21日と減らす」人事制度の改正があり、働きやすさならびにリフレッシュに功奏しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議にて研修を行い、虐待防止について行ったり2カ月に一度チェック表を用いて確認合ったりし、考える機会を作り虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会が少なく、理解されているスタッフが少ない為、今後学べる機会を作り勉強会を実施して行きたいと思えます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長とケアマネージャーがご家族様と書面を見ながら説明を行い、理解して頂ける様に努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議時にお話を伺っています。また面会に来られた際にご利用者様の近況をお伝えし、要望等の確認を行っています。	家族との関係は大変良好です。240箇所ほどある法人内のグループホームの、3ユニット部門のお客様満足度で上位に入り、また本外部評価の家族アンケートも絶賛の嵐で、積み重ねた信頼の厚みを感じます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議時に話し合いを行いスタッフの意見交換を行っています。また個々にも話し合いの場を設けていくように努めています。	会議前に議題が配布され、発表内容をメモ書きしておくことが義務づけられているため、意見がスムーズにできています。係や委員は設けてはいませんが、職員提案は頻繁に上がり、ユニット会議で即決するほどボトムアップの態勢がみられます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの意見を出来る限り汲み取り、働く目的は個々に違えど、働き甲斐のある職場環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会議では介護技術等の研修を行い、技術向上に努めています。外部の研修に参加する機会も作り、サービスの向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	小規模ホーム部会での研修を通じて他施設との交流を持つ機会を持ち、様々な経験などの情報交換を行い職場で活かせるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様との信頼関係を大切に支援を行っています。ご利用者様の不安なこと、要望等はスタッフ間で共有し支援を行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム長やケアマネージャーが十分に話し合い、信頼関係を築く事ができるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日常生活の場でのコミュニケーションや行動等で必要な支援を見極め、会議の際スタッフ間で情報を共有し介護計画を立てる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様のできること、やりたい事は積極的に行って頂いています。ご利用者様から教えて頂く事も多く、信頼関係を築きながら支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の様子を手紙でお知らせしたり、日々のチェック表をご家族様にお送りする事で、ホーム内での情報を適宜お伝えしながら、不安を解消していけるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様のご自宅へ遊びに行かせて頂いたり、ご友人が面会に来られたりとお入居されても交流が狭まらないように努めています。	家族には「さおり通信」で状況を共有しています。正月には半分程度の利用者が一時帰宅しており、その折には家族が「どんな食事がいいですか」「トイレは～」と質問をくださり、事業所の日頃の取組みに合わせて寄り添ってくださいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人の時間も大切にしながら、ご利用者様同士でレクリエーションを楽しまれたり、お話をされる機会を設けたりし環境づくりを大切にしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホーム長やケアマネージャーが窓口となり、退去後も必要に応じて相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の支援の中でご利用者様の要望や想いを把握し生活の支援に活かせる様努めています。	その人のしてほしいやり方というのは職員間で同じになるようにしています。職員が買い物してくるより、自ら選んで購入したときのほうが良い表情となるため、できるだけ一緒に行くようにしたり、木目込みのパッチワークが趣味の利用者には図案DMが届き選ぶことができます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の様子をアセスメントなどで把握し、ご家族様やご本人様との会話の中からも暮らしの把握ができるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子をしっかりと把握しその時に必要な支援が行える様スタッフ間での情報共有を行っています。ご利用者様が安心して過ごせる環境を作れるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の様子を日頃からよく観察し、会議等で様々なアイデアを出し合い、その人らしい生活が送れるよう介護計画を立てています。	介護計画書は、居室担当者が責任もって下書きを作成し担当者会議で主となるなど、育成にも一役かっています。モニタリングでは、全員からの意見を参考に目標に対する評価をおこなって、現場ならではの課題や達成状況が挙げられていることが確認されました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報、サービス記録、送りノートなどを活用し、気づきに対してすぐに支援出来る様チーム力の向上に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに対して適切に対応出来る様にアイデアを出し合い、サービス提供に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方の協力を得ながら、地域の行事に参加させて頂いたりホーム周辺を散歩したりご利用者様1人1人が楽しく生活を送れるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を継続されている方もおられます。必要時にはご家族様と一緒に付き添いや状況をお伝えします。また月に一度往診があり、適切な医療がうけられるようにしています。	全員が月1回ある協働医の訪問診療を受け、健康管理ならびに有事に備えています。無理に交替してもらうようなことはなく、従来のかかりつけ医と2本立ての利用者も2割弱あります。通院介助はバイタル等記録のコピー持参で家族にお願いし、必要に応じて職員が同行することもあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も全ての申し込みに参加することで様子の変化に対応しています。また日々の健康チェックを行い必要時には医療機関と連絡を取りながら早期に適切な受診が受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご家族様や医療機関と情報を共有しながら入院を長期化させない様に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院等で今後のあり方を目の当たりにされるご家族様が多く見られます。常日頃から今後を見据えての支援が行える様ご本人様やご家族様との話し合いを設けていく必要があります。	「最期までこちらで～」という希望が大半で、事業所も家族の期待に応じて取組む姿勢もっています。また介護支援専門員が看護師資格を持ち、また緊急時対応の資料や連絡網も整っています。ただ、これまでは「救急搬送のうえ病院で」というケースだったため、事業所は未経験です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全体会議で研修を行っています。AEDの使用方法や応急処置、連絡体制等を適宜行い、発生時には素早く対応できるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内の防災研修を行ったり、定期的に防災訓練を行っています。消火器の場所や避難場所等をしっかり確認し対応出来る様にしていきます。	防火管理者の交替もあったため、先月の研修会では曖昧だった避難場所など課題に重点的に取組み、今月には実際の訓練でその学びを反映させる運びとなっています。避難訓練では、車いすの利用者を職員4名で階段を使って移動しています。備蓄も規定のものを揃えています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の性格や行動を把握して、その方に合った適切な声掛けや対応をするように心がけています。	フロアの利用者同士にいきかきがあっても、他の階へと気分を一新でき、3ユニットあるメリットを享受しています。職員間の連絡業務はインシヤルトークと決め、また呼称は「必ず名字で」とし、同じ名字だったときは「申し訳ないですが下の名前で呼ばせてもらいます」と家族、本人に一言いれています。	言葉については癖がみられたり、声の大きい職員もいるため、一度改善策を皆で協議することを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様と信頼関係を築きいつでも話しやすい環境の中でやりたい事や希望を伺いながら自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のそれぞれの日常生活を把握し希望に沿った一日が送れるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様やご本人様に伺いご家族様から好みに合わせた衣類を持って来て頂いています。またご本人様と一緒に服を買いに出かける事もあります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	外食に出掛けたり、おやつやおかずを一品作る、調理レクレーションを行ったりしています。季節に合わせたメニューにも気を配り、食事を楽しめる工夫をしています。	畑で採れた芋のツルをごま油で炒めたり、らっきょうの酢漬けをしたり、十五夜では団子、彼岸には牡丹餅をつくってと、時節にちなんだ郷土の味を食レクとして皆でつくっています。普段は調理専任の4名が交替で家庭的な献立を提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は記録し毎日の摂取量が分かるようにしています。目標の一日分の摂取量をしっかりと確保できるように提供時間等を工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後その方に合った方法で口腔ケアを行っています。また協力歯科医の往診も適宜行い、口腔内のチェックをして頂いています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄ケアの研修を外部よりお招きし適切なオムツ、パットの使用方法を学びました。またご利用者様の排泄パターンを把握しトイレ誘導や声掛けを行っています。	現在おむつを利用する人は1名で、重度化してもできるだけトイレでおこなうよう支援しています。本年9月にはパットの販社から講師を招き、職員も利用者体験ができた。サイズ選び等日頃の疑問点や問題となる事例を確認でき、現場にも目に見えて成果がでています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動や、水分量に気を付けています。当社ではフェカリス乳酸菌を定期的に摂取して頂き、便秘だけでなく、体の免疫力を高める努力をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者様からの希望があれば毎日入浴される方もいらっしゃいます。拒否のある方も機嫌の良いタイミングを見て楽しく入浴して頂くようにしています。	浴槽をまたぐことができなくなったことを契機に安全を鑑みてシャワーチェアに切り替えています。1日おきを目安にしていますが、希望で毎日の人もあります。以前は湿気が強かったのですが、本部にかけあってエアコンを設置、壁紙も張り替えて、カビ対策が万全となりました。	どの下着がいいか、タオルにするかなどを利用者に選んでもらって前日の午後には脱衣室にセットしてありますが、「前日の脱衣室のセットは衛生的に適しているのか」改めて職員間で話し合うことを期待します。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合わせた時間で休んで頂いています。眠れない方はホールでスタッフと安心して休めるまでお話をされることもあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ごとの薬の内容や服薬時間を確認し、往診などで薬の変更や追加となった場合には随時スタッフ間で情報共有して経過を観察するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵を描かれたり、パッチワークをされたりご利用者様毎に合った趣味、役割などを提供しています。達成感を喜びに感じて頂ける様支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご利用者様個々のニーズに合わせて買い物や外出に出掛けています。コミュニケーションの中から出てきた言葉を逃さずご利用者様の行きたいところを実現できるように努めています。	地域の皆さんが木材を切り出したの4台の手作りベンチは今も健在で、800mほどの散歩支援に有益に働き、自然を満喫した此処ならではの取組みとして日常に溶け込んでいます。また近くに店舗がないことから車が当たり前というのも、ドライブ外出が頻繁となることにつながっています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所の金庫にて保管していますがご利用者様と一緒に買い物に行ったり、外食に行ったりした際に必要に応じたおこづかいが使える様にしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からのご希望があれば、手紙や電話をすることは可能です。また、ホームに届いたお手紙の返信等も対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃や、その時々合った環境づくりをしています。混乱を招くような刺激に繋がらない様、スタッフ間で話し合い、適宜改善しています。	季節の歌や行事写真が貼り出され、また利用者作品が多いことに驚きます。居室にも家族にお願いして1台必ず入っていますが、共用空間にも加湿器によって適度な湿気があり、感染症対策にも余念がありません。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでは仲の良い方向士の配置をしています。ソファーや居室内の空間を工夫して、色々な場所で安心できる環境を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込んで頂いたり、家具の配置をご家族様やご利用者様と確認し居心地良く過ごせる様努めています。	1階は「パッチワークが得意な利用者と一緒に作れるように」と学習した職員がすべての居室扉に壁掛けを飾っていて、見事です。テレビや冷蔵庫、仏壇を持ち込み、また造花をたくさん並べて「わたらしい」部屋にしていることから、居心地の良さが伝わります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活して頂けるための安全確保に努めています。また、物の配置には気を付けて常に検討しながらその時々合った環境づくりをしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮 2ユニット		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	平成28年11月5日	評価結果市町村受理日	平成28年11月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kami=true&jiyosyoCd=2292100043-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年11月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは自然に囲まれた静かな環境の中に位置しております。周辺には白糸の滝や田貫湖などの観光スポットも多く、外出を楽しむことが出来ます。ホームの前は一周800メートルほどの散歩コースがあり、ご利用者様は天気の良い日には外気浴をされ四季の景色を楽しみながら個々に合わせたペースで散歩をされています。季節の行事や畑の野菜を育て皆様に調理し召し上がったり、自然の環境の中でご利用者様がストレスなく伸び伸びと生活して頂ける様支援しています。7月より導入したカラオケ機械は歌を楽しむだけではなく、ゲームや体操などの機能も付いており皆様コミュニケーションを取りながら笑顔のある生活を送っています。今後も様々な機会を通じて認知症ケアに努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かで敷地も広々とした事業所です。ミッケルアート、タクティールケアのほか、「健康王国」は毎月コンテンツが替わるゲームやカラオケができるもので、利用者の馴染みのツールとなっていくことが期待されており、全国に240箇所余のグループホームをもつ法人のスケールメリットの賜物です。また事業所も頑張りを見せ、例えば3ユニット部門のお客様満足度で上位に入り、また本外部評価の家族アンケートも絶賛の嵐で、積み重ねた信頼の厚みを感じます。地域から散歩の休憩場所となるベンチを用意してもらえたり、春の事業所まつりでは来客者が140名を超す賑わいを見せ、一つひとつを真摯に取組む誠実さに人心が集まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	フロア内に理念を掲示いつでも確認できるようにしています。また申送り時に理念を唱和し、理念に基づいたサービスができるように意識して実践しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区文化祭や、どんど焼きなどの行事に積極的に参加させて頂いています。また、毎日の散歩中に、地域の方とお話をされ、利用者様、スタッフを交えた繋がりを持っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一回の春祭り時には、いつもお世話になっている地域の方々をお招きし、認知症の方々と関わる事でご理解を頂く様にしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の事業所内での活動や、ご利用者様の様子をお伝えしています。ご家族様やご利用者様からの意見を頂きサービスの向上に努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や春祭りなどに参加して頂き、ご意見を頂いています。また市役所での感染症や防災などの報告や地域の活動予定などもお知らせ頂き連携を取っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年2回の研修と2カ月に一度身体拘束、虐待防止についての強化週間があり、身体拘束防止についてスタッフ間で意識しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待や、不適切なケアを行っていないかの見直しを2カ月に一度行っています。少しの内出血も見落とさず、しっかり原因を考え、ご利用者様が安心、安全に生活できる環境を目指しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会が少なく、理解されているスタッフが少ない為、今後学べる機会を作り勉強会を実施して行きたいと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長とケアマネージャーがご家族様と書面を見ながら説明を行い、理解して頂ける様に努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議時にお話を伺っています。また面会に来られた際にご利用者様の近況をお伝えし、要望等の確認を行っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議時に話し合いを行いスタッフの意見交換を行っています。また個々にも話し合いの場を設けていくように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの意見を出来る限り汲み取り、働く目的は個々に違えど、働き甲斐のある職場環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月全体会議にて研修を行い実践に活かせるようにしています。また、市内の研修をスタッフにお知らせし、参加を勧めています。資格取得支援制度を設け働きながら資格が取れる様サポートしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	小規模ホーム部会での研修を通じて他施設との交流を持つ機会を持ち、様々な経験などの情報交換を行い職場で活かせるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用様が安心して生活が送れるよう、良く話を聴き、表情や行動等を観察し信頼関係を作れるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム長やケアマネージャーが十分に話し合い、信頼関係を築く事ができるように努めています。またご家族様が面会に見えた際には話をする機会をもち、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日常生活の場でのコミュニケーションや行動等で必要な支援を見極め、会議の際スタッフ間で情報を共有し介護計画を立てる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを取り、お互いの信頼関係を築き、ご利用様の求めている生活が送れるよう意識を持ち支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の様子を手紙でお知らせしたり、日々のチェック表をご家族様にお送りする事で、ホーム内での情報を適宜お伝えしながら、不安を解消していけるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用様のご自宅へ遊びに行かせて頂いたり、ご友人が面会に来られたりとお入居されても交流が狭まらないように努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士で仲良くレクリエーションを楽しまれたり、お話をされたりしています。他のユニットとの交流を持ちそれぞれのご利用者様が関われる機会を作っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホーム長やケアマネージャーが窓口となり、退去後も必要に応じて相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の日常生活を把握し、ご希望については常時ご本人様に伺いなるべくご希望に沿えるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居する前にアセスメントで情報を確認しています。入居後も支援の中で新たな情報があればスタッフ間で共有していくように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のご利用者様の生活記録にてスタッフ間で情報を把握しています。また、心身の状態、変化に気を配り対応しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の申送り等でスタッフ間で情報を共有し、毎月の会議でご利用者様の要望や現状に即した支援をするためのアイデアを出し合い介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報、サービス記録、申送りノートなどを活用し、気づきに対してすぐに支援出来る様チーム力の向上に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々な課題に順応できるように、多方面からアイデアや様々なサービスの方法を出し合い支援出来る様努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方の協力を得ながら、地域の行事に参加させて頂いたりホーム周辺を散歩したりご利用者様1人1人が楽しく生活を送れるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を継続されている方もおられます。必要時にはご家族様と一緒に付き添いや状況をお伝えします。また月に一度往診があり、適切な医療がうけられるようにしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も全ての申し込みに参加することで様子の変化に対応しています。また日々の健康チェックを行い必要時には医療機関と連絡を取りながら早期に適切な受診が受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご家族様や医療機関と情報を共有しながら入院を長期化させない様に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院等で今後のあり方を目の当たりにされるご家族様が多く見られます。常日頃から今後を見据えての支援が行える様ご本人様やご家族様との話し合いを設けていく必要があります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全体会議で研修を行っています。AEDの使用方法や応急処置、連絡体制等を適宜行い、発生時には素早く対応できるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内の防災研修を行ったり、定期的に防災訓練を行っています。消火器の場所や避難場所等をしっかり確認し対応出来る様になっています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の性格や行動を把握して、その方に合った適切な声掛けや対応をするように心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別ケアに重点を置き、1人1人の想いや希望に添い、自己決定にて生活できるよう支援に心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のそれぞれの日常生活を把握し希望に沿った一日が送れるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容をしっかり行っています。また、以前通っていた美容院へお連れしたり、一緒に買い物へ行き好みの洋服を選んで頂いたりいつまでもおしゃれの楽しみを続けて頂ける様支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中はコミュニケーションを取りながらゆっくりした時間の中で召し上がっています。刻み食やペーストの方も彩りを工夫し見た目にも気を配っています。調理レクや外食にもご利用者様と行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量、食事形態にて対応しています。毎日の食事量や水分量を記録し栄養管理に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後その方に合った方法で口腔ケアを行っています。また協力歯科医の往診も適宜行い、口腔内のチェックをして頂いています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導するタイミングや介助方法を工夫し、可能な限りトイレでの排泄を行う様支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動や、水分量に気を付けています。当社ではフェカリス乳酸菌を定期的に摂取して頂き、便秘だけでなく、体の免疫力を高める努力をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者様からの希望があれば毎日入浴される方もいらっしゃいます。拒否のある方も機嫌の良いタイミングを見て楽しく入浴して頂くようにしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合わせた時間で休んで頂いています。眠れない方はホールでスタッフと安心して休めるまでお話をされることもあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ごとの薬の内容や服薬時間を確認し、往診などで薬の変更や追加となった場合には随時スタッフ間で情報共有して経過を観察するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の趣味や役割を理解し、同じレクリエーションであっても個々の目的に沿ったものを提供し毎日楽しく過ごして頂ける様つとめています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様個々のニーズに合わせ買い物や外出に出掛けています。コミュニケーションの中から出てきた言葉を逃さずご利用者様の行きたいところを実現できるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所の金庫にて保管していますがご利用者様と一緒に買い物に行ったり、外食に行ったりした際に必要に応じたおこづかいが使える様にしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からのご希望があれば、手紙や電話をすることは可能です。また、ホームに届いたお手紙の返信等も対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃や、その時々にあった環境づくりをしています。混乱を招くような刺激に繋がらない様、スタッフ間で話し合い、適宜改善しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでは仲の良い方向士の配置をしています。ソファーや居室内の空間を工夫して、色々な場所で安心できる環境を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込んで頂いたり、家具の配置をご家族様やご利用者様と確認し居心地良く過ごせる様努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活して頂けるための安全確保に努めています。また、物の配置には気を付けて常に検討しながらその時々にあった環境づくりをしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292100043		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム富士宮 3ユニット		
所在地	静岡県富士宮市佐折840		
自己評価作成日	平成28年11月5日	評価結果市町村受理日	平成28年11月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JizyosyoCd=2292100043-00&PrefCd=22&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年11月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは自然に囲まれた静かな環境の中に位置しております。周辺には白糸の滝や田貫湖などの観光スポットも多く、外出を楽しむことが出来ます。ホームの前は一周800メートルほどの散歩コースがあり、ご利用者様は天気の良い日には外気浴をされ四季の景色を楽しみながら個々に合わせたペースで散歩をされています。季節の行事や畑の野菜を育て皆様で調理し召し上がったたり、自然の環境の中でご利用者様がストレスなく伸び伸びと生活して頂ける様支援しています。7月より導入したカラオケ機械は歌を楽しむだけでなく、ゲームや体操などの機能も付いており皆様コミュニケーションを取りながら笑顔のある生活を送っています。今後も様々な機会を通じて認知症ケアに努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かで敷地も広々とした事業所です。ミツケルアート、タクティールケアのほか、「健康王国」は毎月コンテンツが替わるゲームやカラオケができるもので、利用者の馴染みのツールとなっていくことが期待されており、全国に240箇所余のグループホームをもつ法人のスケールメリットの賜物です。また事業所も頑張りみせ、例えば3ユニット部門のお客様満足度で上位に入り、また本外部評価の家族アンケートも絶賛の嵐で、積み重ねた信頼の厚みを感じます。地域から散歩の休憩場所となるベンチを用意してもらえたり、春の事業所まつりでは来客者が140名を超す賑わいをみせ、一つひとつを真摯に取り組む誠実さに人心が集まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	フロア内に理念を掲示いつでも確認できるようにしています。また申送り時に理念を唱和し、理念に基づいたサービスができるように意識して実践しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地区文化祭や、どんど焼きなどの行事に積極的に参加させて頂いています。また、毎日の散歩中に、地域の方とお話をされ、利用者様、スタッフを交えた繋がりを持っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一回の春祭り時には、いつもお世話になっている地域の方々をお招きし、認知症の方々と関わる事でご理解を頂く様にしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の事業所内での活動や、ご利用者様の様子をお伝えしています。ご家族様やご利用者様からの意見を頂きサービスの向上に努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や春祭りなどに参加して頂き、ご意見を頂いています。また市役所での感染症や防災などの報告や地域の活動予定などもお知らせ頂き連携を取っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年2回の研修と2カ月に一度身体拘束、虐待防止についての強化週間があり、身体拘束防止についてスタッフ間で意識しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待や、不適切なケアを行っていないかの見直しを2カ月に一度行っています。少しの内出血も見落とさず、しっかり原因を考え、ご利用者様が安心、安全に生活できる環境を目指しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会が少なく、理解されているスタッフが少ない為、今後学べる機会を作り勉強会を実施して行きたいと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長とケアマネージャーがご家族様と書面を見ながら説明を行い、理解して頂ける様に努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議時にお話を伺っています。また面会に来られた際にご利用者様の近況をお伝えし、要望等の確認を行っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議時に話し合いを行いスタッフの意見交換を行っています。また個々にも話し合いの場を設けていくように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの意見を出来る限り汲み取り、働く目的は個々に違えど、働き甲斐のある職場環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月全体会議にて研修を行い実践に活かせるようにしています。また、市内の研修をスタッフにお知らせし、参加を勧めています。資格取得支援制度を設け働きながら資格が取れる様サポートしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	小規模ホーム部会での研修を通じて他施設との交流を持つ機会を持ち、様々な経験などの情報交換を行い職場で活かせるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様との信頼関係を築くように努め、個々のご利用者様の理解をし安心して生活ができる様にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム長やケアマネージャーが十分に話し合い、信頼関係を築く事ができるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日常生活の場でのコミュニケーションや行動等で必要な支援を見極め、会議の際スタッフ間で情報を共有し介護計画を立てる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを取り、お互いの信頼関係を築き、ご利用者様の求めている生活が送れるよう意識を持ち支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の様子を手紙でお知らせしたり、日々のチェック表をご家族様にお送りする事で、ホーム内での情報を適宜お伝えしながら、不安を解消していけるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様のご自宅へ遊びに行ったり、ご友人が面会に来られたりとお入居されても交流が狭まらないように努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士で仲良くレクリエーションを楽しまれたり、お話をされたりしています。他のユニットとの交流を持ちそれぞれのご利用者様が関われる機会を作っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホーム長やケアマネージャーが窓口となり、退去後も必要に応じて相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の支援の中でご利用者様の要望や想いを把握し生活の支援に活かせる様努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居する前にアセスメントで情報を確認しています。入居後も支援の中で新たな情報があればスタッフ間で共有していくように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子をしっかりと把握しその時に必要な支援が行える様スタッフ間での情報共有を行っています。ご利用者様が安心して過ごせる環境を作れるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のユニット会議時に意見やご利用者様の要望を確認し、ご本人様に合った介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報、サービス記録、送りノートなどを活用し、気づきに対してすぐに支援出来る様チーム力の向上に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々な課題に順応できるように、多方面からアイデアや様々なサービスの方法を出し合い支援出来る様努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方の協力を得ながら、地域の行事に参加させて頂いたりホーム周辺を散歩したりご利用者様1人1人が楽しく生活を送れるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を継続されている方もおられます。必要時にはご家族様と一緒に付き添いや状況をお伝えします。また月に一度往診があり、適切な医療がうけられるようにしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も全ての申し込みに参加することで様子の変化に対応しています。また日々の健康チェックを行い必要時には医療機関と連絡を取りながら早期に適切な受診が受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご家族様や医療機関と情報を共有しながら入院を長期化させない様に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院等で今後のあり方を目の当たりにされるご家族様が多く見られます。常日頃から今後を見据えての支援が行える様ご本人様やご家族様との話し合いを設けていく必要があります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全体会議で研修を行っています。AEDの使用方法や応急処置、連絡体制等を適宜行い、発生時には素早く対応できるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内の防災研修を行ったり、定期的に防災訓練を行っています。消火器の場所や避難場所等をしっかり確認し対応出来る様になっています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の性格や行動を把握して、その方に合った適切な声掛けや対応をするように心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様と信頼関係を築きいつでも話しやすい環境の中でやりたい事や希望を伺いながら自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のそれぞれの日常生活を把握し希望に沿った一日が送れるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容をしっかりと行っています。また、以前通っていた美容院へお連れしたり、一緒に買い物へ行き好みの洋服を選んで頂いたりいつまでもおしゃれの楽しみを続けて頂ける様支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中はコミュニケーションを取りながらゆっくりした時間の中で召し上がっています。刻み食やペーストの方も彩りを工夫し見た目にも気を配っています。調理レクや外食にもご利用者様と行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量、食事形態にて対応しています。毎日の食事量や水分量を記録し栄養管理に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後その方に合った方法で口腔ケアを行っています。また協力歯科医の往診も適宜行い、口腔内のチェックをして頂いています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄ケアの研修を外部よりお招きし適切なオムツ、パットの使用方法を学びました。またご利用者様の排泄パターンを把握しトイレ誘導や声掛けを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動や、水分量に気を付けています。当社ではフェリカス乳酸菌を定期的に摂取して頂き、便秘だけでなく、体の免疫力を高める努力をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者様からの希望があれば毎日入浴される方もいらっしゃいます。拒否のある方も機嫌の良いタイミングを見て楽しく入浴して頂くようにしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合わせた時間で休んで頂いています。眠れない方はホールでスタッフと安心して休めるまでお話をされることもあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ごとの薬の内容や服薬時間を確認し、往診などで薬の変更や追加となった場合には随時スタッフ間で情報共有して経過を観察するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の趣味や役割を理解し、同じレクリエーションであっても個々の目的に沿ったものを提供し毎日楽しく過ごして頂ける様とめています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様個々のニーズに合わせ買い物や外出に出掛けています。コミュニケーションの中から出てきた言葉を逃さずご利用者様の行きたいところを実現できるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所の金庫にて保管していますがご利用者様と一緒に買い物に行ったり、外食に行ったりした際に必要に応じたおこづかいが使える様にしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からのご希望があれば、手紙や電話をすることは可能です。また、ホームに届いたお手紙の返信等も対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃や、その時々合った環境づくりをしています。混乱を招くような刺激に繋がらない様、スタッフ間で話し合い、適宜改善しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでは仲の良い方向士の配置をしています。ソファーや居室内の空間を工夫して、色々な場所で安心できる環境を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込んで頂いたり、家具の配置をご家族様やご利用者様と確認し居心地良く過ごせる様努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して生活して頂けるための安全確保に努めています。また、物の配置には気を付けて常に検討しながらその時々合った環境づくりをしています。		